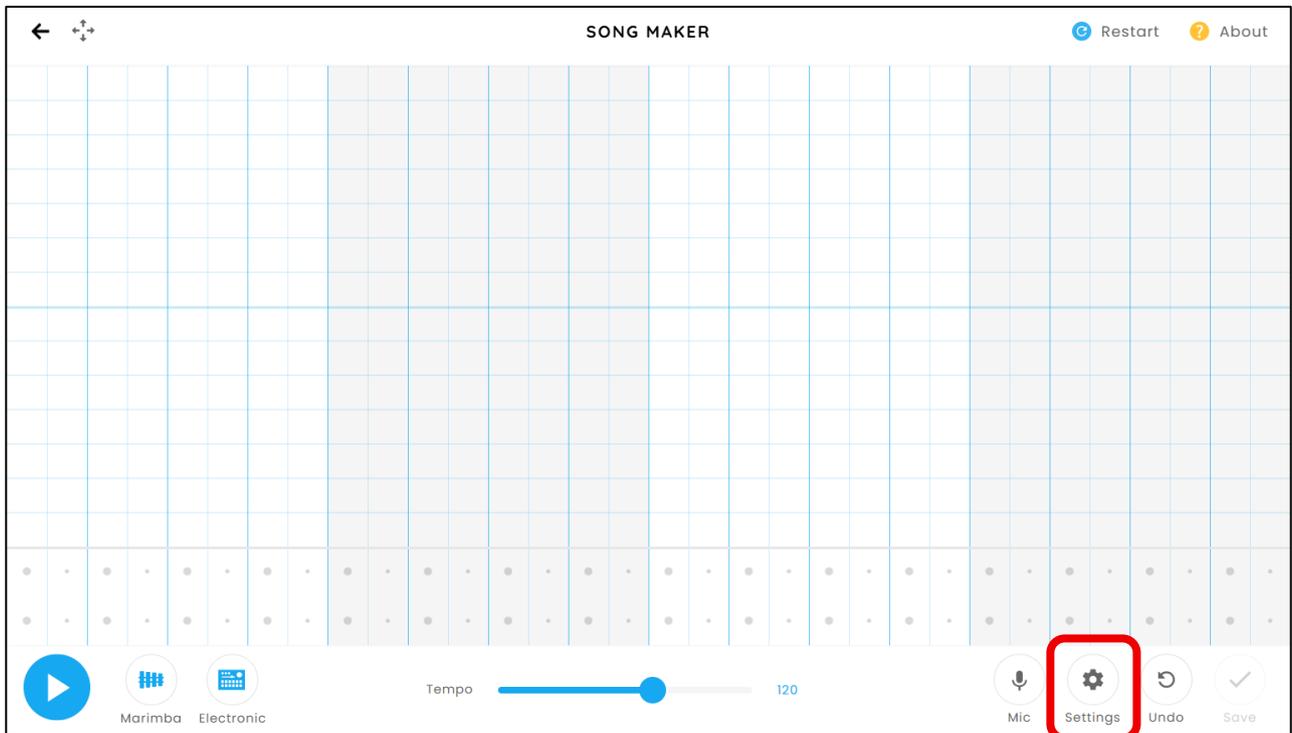


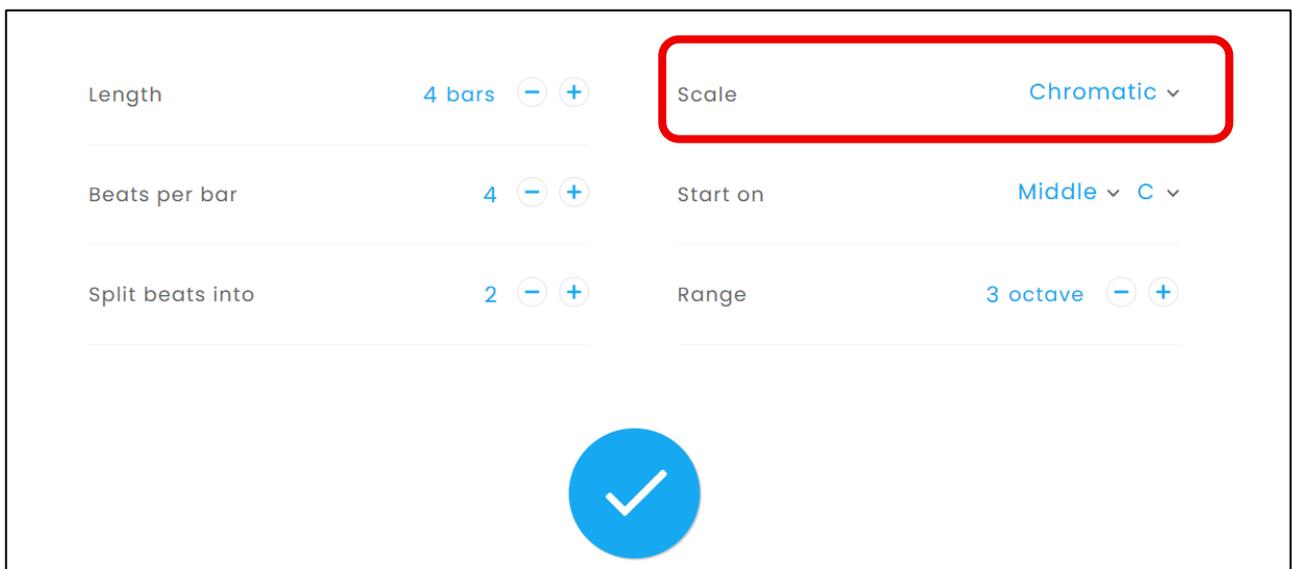
## 参考資料① Song Maker の使い方

### 【教師の準備 ~初期設定~】

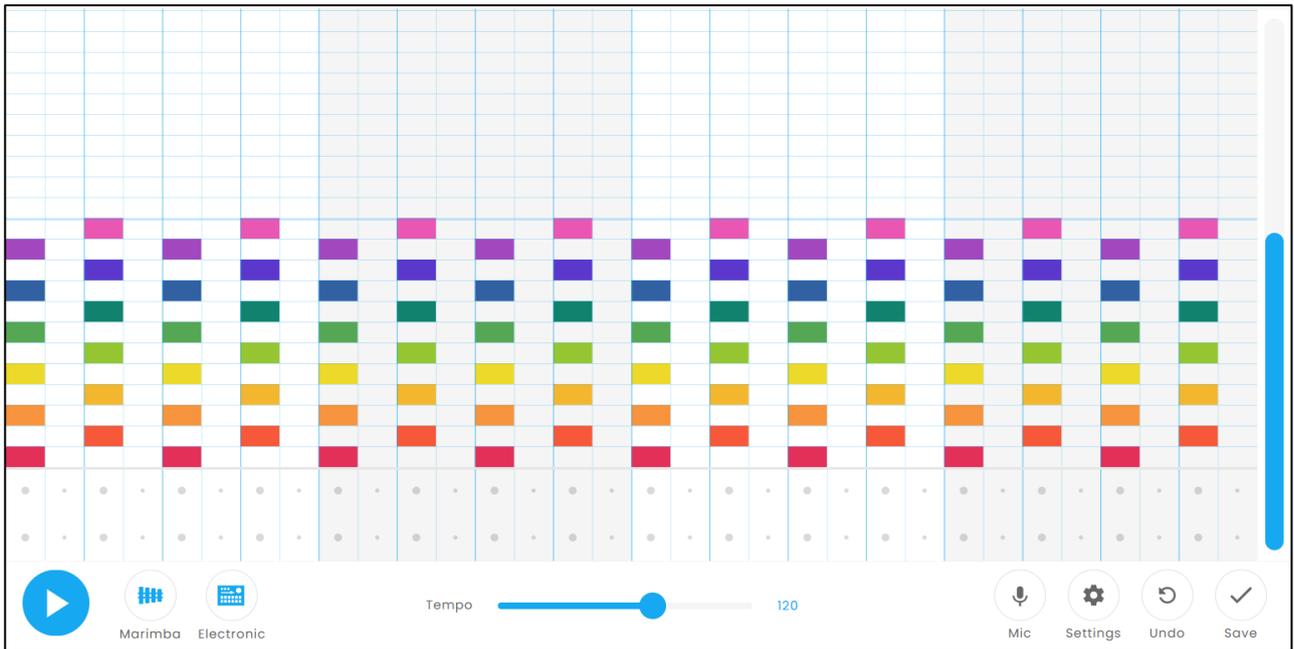
- (1) 検索エンジンで「Song Maker」と打ち込み, 画面を表示させます。
- (2) 右下の歯車マーク(Settings)を選択します。



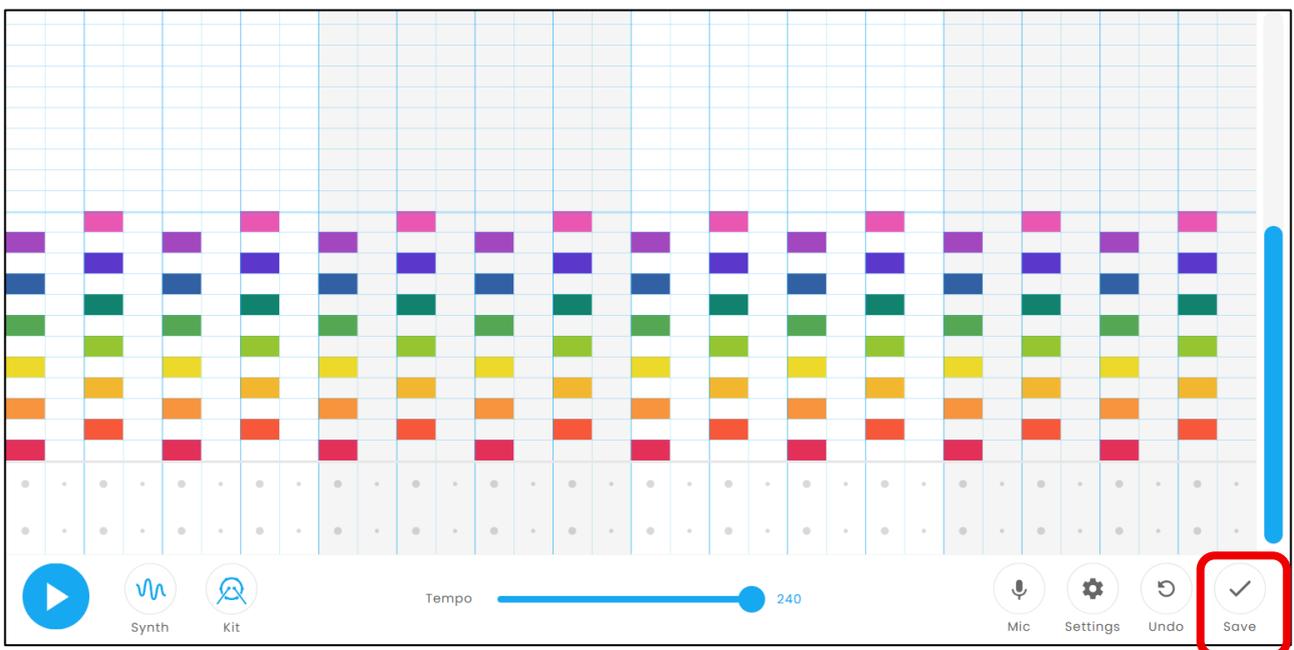
- (3) Scale の初期設定が「Major(ドレミファソラシのみ入力できる)」になっているので,これを「Chromatic」に変更します。なお, Length(長さ)や Range(オクターヴの範囲)はお好みに調整してください。筆者は 4bars/3octave でやりました。



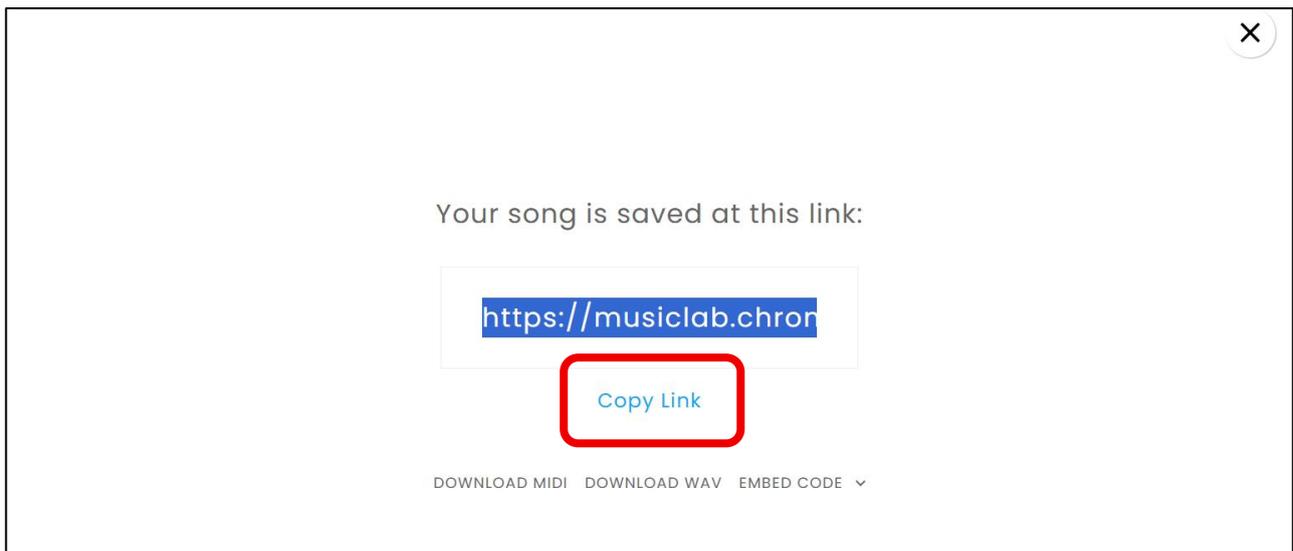
(4) 伴奏を付ける場合は、事前に入力しておきます(筆者は下図のような簡易伴奏をつけました)。伴奏なしでやる場合、この項目はとばしてください。



(5) 左下の楽器マークや中央の Tempo を変えることもできます。お好みの初期設定がつけられたら、右下のチェックマーク (Save) を選択します。



(6) Copy Link を1回選択すると,自分がつくった初期設定画面を共有するためのリンクをコピーすることができます。



(7) コピーしたリンクを, 特定の方法で生徒に伝えます。筆者は Google Classroom に貼って, 個々のタブレットから開かせました。

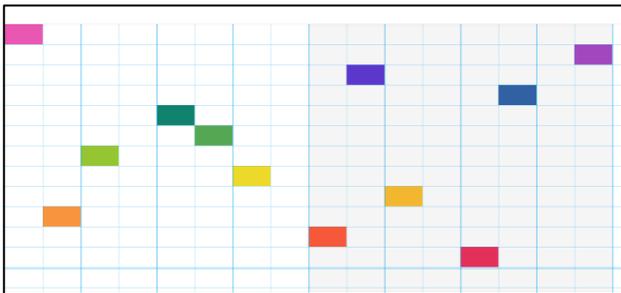


## 【生徒の創作について】

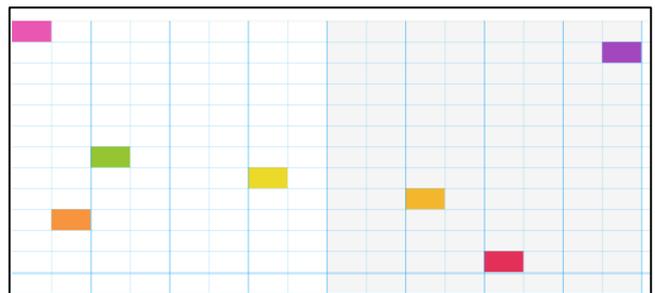
(1) 本紙でも触れたとおり, 創作にあたってのルールを示しておきます。例えば…

担当する(1)~(4)の形に沿って音を順番に入れ, 12個の音をすべて使う。ただし, 高さや空白の位置は自由。

OK

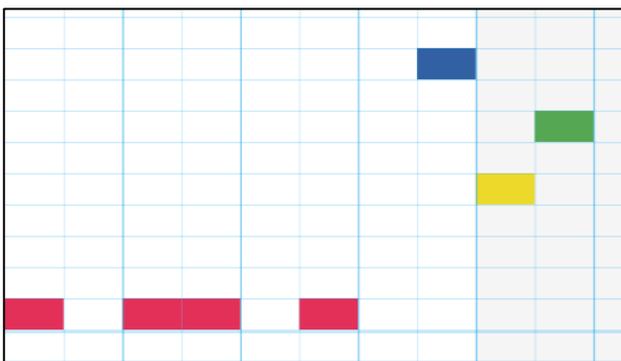


NG (12個の音全てを使っていない)

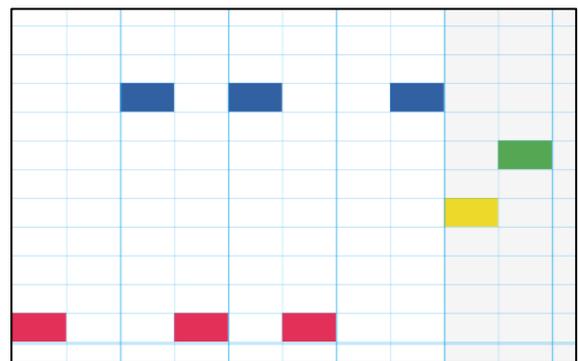


一色につき 1 回まで使用できる。「赤赤赤」のように同じ色を連続で使うのは OK。ただし, 「赤青赤」のように別の色に移って再び戻ってくるのは NG。

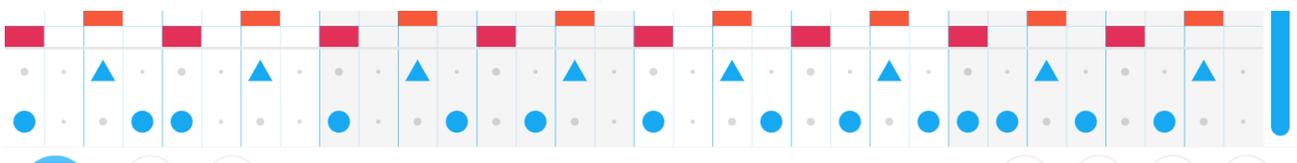
OK



NG (順番を守っていない)



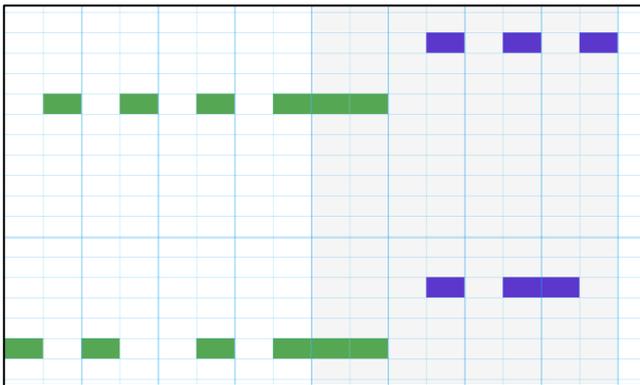
伴奏部分にはさわらない。ビートは自由に入れてよい。



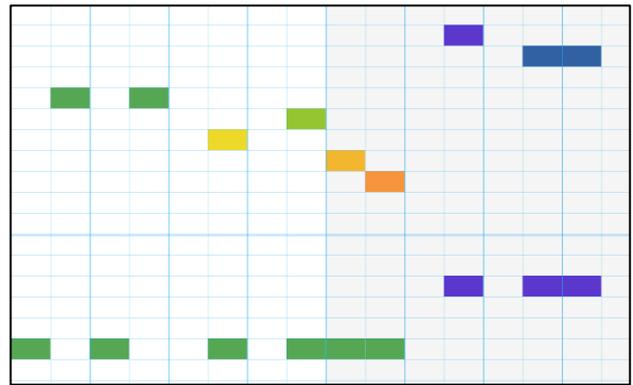
なお、筆者の実践では以下の項目も OK にしました。

- 同じ色であれば、オクターヴで音を重ねてもよい（違う色で重ねるのは NG）。また、高さの違う同色を連続で使ってもよい。
- テンポや楽器を自由に変えてもよい。

OK



NG (違う色で重ねている)



(2) 毎時終わりに、生徒に保存リンクを提出させます。やり方は様々ですが、筆者は Google Classroom に貼らせました。次の授業のはじめに自分のリンクをタップすると、続きから創作を再開することができます。

齋藤紘希  
2025/12/10

12月10日 (水)  
VS 竜王  
オリジナルBGMの提出先はこちら

🗨️ クラスのコメント 46 件

🔴 <https://musiclab.chromeexperiments.com/Song-Maker/song/5257382044762112>

🔴 <https://musiclab.chromeexperiments.com/Song-Maker/song/4602632148221952>

作品例はこちらからどうぞ→

(Google ドライブです)

